

# クリーンウッド法の実効性向上に向けたフェアウッド調達の普及啓発

九州大学 熱帯農学研究センター 百村帝彦  
国際環境NGO FoE Japan 三柴淳一

## 研究・活動の背景と目的

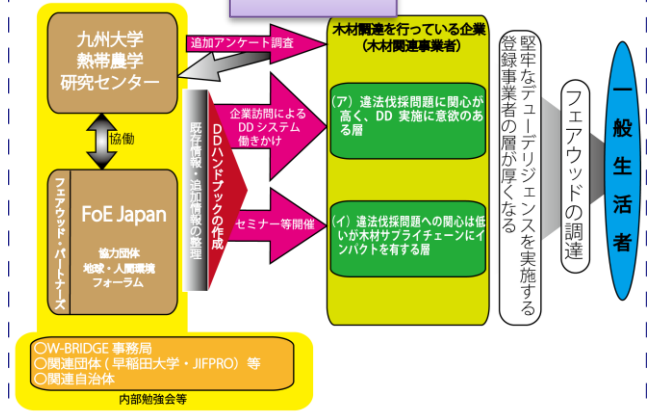
### 背景

- ・2016年5月合法木材利用促進法成立、2017年5月施行。しかし促進法ゆえデュー・デリジェンス（DD）実施は任意で、違法伐採木材の日本市場への流入の可能性が残る
- ・任意ながらDD実施を事業者に求めていくことでより有効な違法伐採対策の展開を期待

### 目的

- ①DDに関心の低かった企業の意識向上を図る
- ②積極的に違法木材排除に取り組もうとする企業に対して、必要とする情報の提供と支援をおこなう

## 実施体制



## 内容と成果

### <1stステージ>

- ・勉強会・セミナーの開催: (ア)違法伐採問題に関心が高くDD実施に意欲のある層の企業や政府、登録実施機関を対象
- ・DDハンドブックの制作: (イ)違法伐採問題への関心は低いが業界に大きなインパクトを有する層を主な対象

### 登録実施機関向け勉強会開催

- ・登録実施機関向けDD勉強会を11月22日に開催
- ・EUや米国の先行事例を元に、DDの基本的な考え方や実施方法などを説明
- ・登録実施機関5社の中でもDDに関する理解度はまちまちであり、情報提供の場は効果的
- ・他方、事業者へのコンサルティングサービスを担っている認証機関やコンサルティング会社から、制度の課題点・問題点に関する突っ込んだ議論を期待する声もあった



継続して、2ndステージに第2回の開催を予定

### DDセミナー開催

- ・DD実施に意欲のある層の企業等を対象にDDセミナーを開催
- ・リスクの高い生産国としてロシア・中国、ルーマニアの事例を紹介
- ・具体的なDDの手法に関する情報を提供



### DDハンドブック制作

主な対象を(イ)の層とし、違法伐採に関する知見が多くなくても、読み手が重要ポイントを容易に記憶できるよう、可能な限り手軽さや読みやすさを意識し作成



### 既存情報の整理

- ・木材トレーサビリティ・リスク評価など既存情報を整理
- ・九州大学とFoE Japanを中心に、関連他団体も交え、週一回程度の会議を開催
- ・DDハンドブックの方向性や内容について議論し、既存情報を整理

### 追加情報の収集

- ・今期1stステージでは、中国とベトナムの追加的な情報について、既存文献を中心に整理
- ・整理された情報は、DDハンドブックを作成するとともに「フェアウッド・パートナーズ」WEBサイトに掲載し、クリーンウッド法の「クリーンウッドナビ」への提言に活用

## 今後の展開

- ・広範な木材調達企業を対象とした公開セミナーの開催
- ・木材流通の下流の企業への個別訪問や対話を通じたDDシステム構築の働きかけ